

WEEKLY



REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)村山 圭治 (副会長)神原 一久 (幹事)中島二三男
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

2015～2016 年度会長方針 「今年度は30周年です。一回でも多くの奉仕活動に参加しましょう。」

第1417回例会

2016年4月13日

本日のプログラム

次年度ガバナー補佐訪問

11:30～12:30

例会

12:30～13:30

理事会

13:30～14:00

クラブ協議会⑤

次のプログラム

例会 12:30～13:30

卓話 演題「未定」

日本新華僑通信社 蔣 豊氏

(紹介者) R情報・雑誌委員長 林 文晔会員

幹事報告

今月のソングリーダー 佐野明三郎会員

4月のお祝い

【会員の誕生日】

涌井 カタリン・ゴンザレス会員 2日

細田 新子会員 16日

【結婚記念日】

浅原 英明・洋子ご夫妻 4日

渡邊 裕之・孝子ご夫妻 8日

山元 巖・美代ご夫妻 23日

新倉 康榮・美代ご夫妻 29日

年間100%出席表彰

26年間皆出席 前川昭一会員

17年間皆出席 稲川 一会員

前回の例会報告 2016年3月30日

会長報告

1. ソウル国際会議の3月7日現在での登録状況ですが、世界で41,646名、日本は6,000名弱という事です。第2580地区では332名です。まだ間に合いますので是非ご参加を検討下さい。
2. 台湾南部地震の被害者への義援金BOXですが、前回に引き続いて今回も回しますので、未だ出していない人は是非ご協力をお願いします。
(合計39,000円集まり、3月31日ガバナー事務所へ送金)
3. 事務局員の退職の件について報告された。

1. 公益財団法人 米山梅吉記念館から、全国1人100円運動と賛助会員(1人年間3,000円)の募集及び4月23日(土)の春季例祭の案内が届いております。ご希望の方は事務局までお申し出ください。
2. 青少年奉仕情報第16号が届いております。資料の量が多いため2部程ホワイトボードの下に置いておきますのでご興味のある方はご覧になって下さい。
3. ソウル国際大会に参加される方へのご案内です。TOKYO NIGHT PARTYに参加ご希望の方は4月18日までに事務局までお申し込み下さい。
4. 4月の例会スケジュールですが、4月6日は休会、7日は次年度役員・委員長の地区研修協議会です。4月13日は次年度ガバナー補佐訪問とクラブ協議会ですが、クラブ協議会では各次年度役員・委員長から地区研修協議会の報告をして頂きますので宜しくお願いします。また、4月27日は今年度のガバナー補佐の3回目の訪問があります。

■ゲスト

豊島区立郷土資料館学芸員

日本女子大学非常勤講師

秋山 伸一様

■出席報告

会 員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	3月16日分 修正出席率
33名	30名	24名	6名	80.00%	90.00%

ソメイヨシノ誕生秘話

豊島区立郷土資料館学芸員 秋山 伸一氏



日本の江戸時代において、約100万人が居住したとされる大都市江戸およびその近隣地域が、起伏に富み、また緑地に恵まれた「庭園都市」であったことが、近年の研究成果により明らかになっている。明暦3年（1657）に発生した明暦の大火後、江戸の都市整備が進み、その過程で武家屋敷の庭園整備、寺社の名所化、政策による花名所の創出、庶民による小庭園を使った植物栽培などにより、江戸の緑地が増えていったのである。

こうした緑地を長く維持していくためには、日常的な手入れが求められる。これに一定の役割を果たしたのが江戸および江戸近隣に居住していた植木屋である。ここで用いる「植木屋」とは、自身の敷地内での植物栽培と販売を前提とし、植物の維持・管理、さらに近隣の武家屋敷等の庭園管理を担う人たちと定義づけられる。地域内には江戸の中心から数里以内に所在し、敷地に四季折々の植木や鉢植えを並べ、来訪者が自由に見学、気に入ったものを入手できる、いわば名所化・観光地化していた場所を指す。ことに17世紀後半以降、武蔵国豊島郡上駒込染井（現東京都豊島区駒込）に居住した植木屋たちは、その規模、技術ともに突出していた。

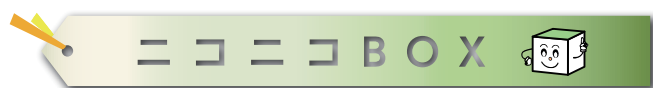
一方、数多い桜の栽培品種のうち日本での知名度が高く、また全国に植栽される桜のうち80%以上を占めるとされるのがソメイヨシノである。`桜前線、という用語が日本全国で通用し、また地域ごとの開花予測が可能なのは、全国各地に多くのソメイヨシノがまんべんなく分布していることはもちろん、ソメイヨシノが接ぎ木等によって増やされるクローン植物であるためである。つまり、世界各地に植栽されているすべてのソメイヨシノが同じ性質を持つため、同一の環境下では毎年同じように生長

し、芽吹き、開花し、散っていくわけである。

ソメイヨシノは栽培品種の和名が確定するまではヨシノザクラや単にヨシノと呼ばれていた。明治33（1900）年、植物学者藤野寄命が、桜樹に関する報告書のなかで「そめいよしの」を初めて用い、翌34年に植物学者松村任三により学名「*Prunus. Yedoensis* Matumura（プルヌス・エドエンシス マツムラ）」が付与されると、その数年後に新聞をはじめとする各種出版物で「そめいよしの」や「染井吉野」が使われるようになり、以降桜の栽培品種の和名としてソメイヨシノが浸透、ここ数十年で定着するようになったのである。

ソメイヨシノは植物学的にはエドヒガンとオオシマザクラの雑種であり、エドヒガンの園芸品種を母親とし、オオシマザクラの園芸品種を父親として交雑により明治維新より前に誕生したものとされる（最新の研究では、ソメイヨシノ＝（オオシマザクラ×ヤマザクラ）×エドヒガンという推測が発表されている）。そして、栽培品種名冒頭に「ソメイ」という地名が含まれていることと、前述した染井の植木屋による活躍といった歴史的経緯から、ソメイヨシノは染井の植木屋により広く全国に向けて売り出されたものと考えられる。

このように、17世紀後半以降の染井の植木屋たちの活躍と長年にわたる植物栽培研究の成果が、ソメイヨシノ誕生とその後の全国への伝播へつながったと言える。染井の植木屋たちは、単に江戸観光を楽しむ人々を対象に花名所の場を提供してだけでなく、長年にわたる植物栽培をめぐる試行錯誤を通して、新品種を誕生させるそ地固めを確実に行っていたのである。



前川会員／チャーターメンバーとしてのお祝いの御礼（おそくなりまして申し訳ありません）。

林会員／長男（弘捷）が日大医学部に合格しました。いつもありがとうございます。

高橋会員／1年半強という短い期間でしたが、皆様には大変お世話になりました。豊島東ロータリーの益々の発展をお祈りいたします。本当にありがとうございました。

杉山美江／皆様、短い期間でしたが、ご縁に感謝申し上げます。クラブの発展と皆様の御健康をお祈り申し上げます。